

一緒に交通ルールを守って

***** 安全・安心PR動画撮影 *****

毎年市で行なっていた『安全・安心なまちづくり推進決起大会』は、新型コロナウイルス感染症まん延により中止。急きよ予定を変更し、名古屋芸術大学の声優ユニット『iCANDY(アイキャンディ)』の協力で、1月26日に名古屋芸術大学アートスクエア(文化勤労会館)で交通安全と防犯対策に関する啓発を目的とした市民向けPR動画を撮影し、配信することになった。

iCANDYは宝塚歌劇団出身のまほろば遊さんがプロデュースを手掛けた同大声優アクティヴグループの在学生15人で構成された声優ユニット。イベントやラジオ等にも出演し、幅広く活動している。

同ユニットメンバー3年



生の伊藤佳帆さん、藤原みかさん、4年生の塩澤美響さん、荒川れもんさん、アロセナ好美さんの5人が担当して、大会宣言を同館大ホールで撮影した。自主的に交通安全活動や防犯活動を行うこ

と、交通安全団体や地域の自主防犯団体の事業や取り組みに積極的に協力し、交通事故防止、犯罪防止に努めること、事業者や警察署、行政の皆で力を合わせ、地域ぐるみのまちづくり運動を展開す

ることを声量のあるはっきりとした声で誓った。その後、三枝夕夏さんの曲『Hand to Hand』を歌った。

また、同ユニットの初オリジナル曲『SHINING CANDY!』をメンバー11人で元気いっぱい披露した。その他、自転車のルールや特殊詐欺について市民らに注意を呼び掛けた。

呼び掛ける側になつて交通ルールに対して一層背筋が引き締まったという同ユニットのリーダー荒川さんは「私たちが芸大生の姿を見て、皆さんも一緒に交通ルールを守ってもらいたいです。黄色信号が進む方がいるかもしれないませんが、それは当たり前ではありません。道を譲つてもらったときはハグをたい感謝の気持ちを伝える思

いやりの心を持つてほしいです」と交通ルールの大切さを改めて訴えた後、撮影に参加した1〜3年生に対して「今日で4年生の事は終わりますが、1〜3年生の堂々とした後ろ姿を見たら安心して卒業できると思えました」と笑顔になっていた。

撮影した動画は、視聴者に分かりやすいようにテロップなどの編集をして、2月頃に市ホームページなどで配信される予定。市内の銀行やショッピングセンターなどでは、警察庁特別防犯支援官を委嘱されたものまねタレント「コロッケ」さんの肉声による防犯メッセージが3月31日まで流される。